

緊急声明 IFSW は公平なワクチン接種への行動を要請する

2021年6月2日

ワクチンを公平に分配するために政治的に必要なことは、世界的危機に対する世界的解決策を見出すために、地域社会と保健、医療、社会の専門職がとともに働くことである。IFSWの事務総長であるローリー・トゥルエルは「この呼びかけを世界で実現するために皆さんの助けが必要です」と述べている。そして、会員が自分たちの国の厚生大臣に働きかけを行うように勧めている。

2021年6月12日、英国で開催されるG7会議には、アメリカ合衆国、イタリア、カナダ、フランス、ドイツ、英国、日本の代表が集まることになる。これらの諸国はすでに他の国に先じて自国の国民へのワクチンを供給しており、さらにCOVAXの支援をも表明している。しかしながら新型コロナウイルスは依然として非常に多くの人々の命を奪っている。われわれはこの世界の危機に対して世界的な対策を打ち立てる責任を負っている。

IFSWは、保健、医療、社会の専門職連携機関の立場から、先月、今回G7サミットの議長を務めるボリス・ジョンソンに宛てて書簡を送った。われわれはこのサミットにおいて、G7の各国首脳に対して、COVID19のパンデミックに対する世界的解決を共同で計画し共同で作成するために専門職と地域社会とのパートナーシップを作り上げるように提案した。われわれはこの世界の問題に対して、具体的で、医療と社会に適合し、環境的に持続可能な短期的ならびに長期的な世界的な解決策を共同でつくることができる。

英国政府を代表してベテル卿は次のように述べている。

「われわれはG7と力を合わせて、COVIDパンデミックと戦うにあたり、迅速で公平なワクチンの分配と、健康の安全の危機に対する集団防御策を焦点とする対策をつくることに全力で取り組む。われわれは議長国として、G7諸国の医療・保健の指導者らが、長期的な挑戦に応じ、国際的健康についての回答を打ち出すため、『健康宣言』を支持するように強く促すものである。」

この呼びかけを受け取ることは最初の出発点ではあるが、地域社会や保健や初期治療やソーシャルワークの専門職の投入なしには、その実現の道りは遠く、効果的な「健康宣言」についての懸念が残る。今や真剣に取り組むべき時であり、IFSWはこの健康宣言を準備するに際して、その方法についてわれわれが知っていることや、声明には行動が伴うことを保障するために、会員の皆さんからの支援をお願いしたい。

IFSWは、会員、とくにG7グループの諸国の会員に対して、以下の行動を要請する。

- ・実際に健康宣言を準備する政府関係者に接触する。
- ・政府関係者に対して、医療関係者を含めたわれわれの集团的体験から、不平等で貧弱な

医療と社会保護システムこそが、このパンデミックの中心的な悪条件であることを伝える。

- ・地域社会と政治指導者と初期治療やソーシャルワークに精通した専門職との協働こそがこのパンデミックを収束させるために何よりも重要である。

- ・将来に向けて、医療と社会の強固な保護システムを築くことにより、将来、パンデミックが原因で人々のウェルビーイングと世界経済が破壊することを予防することができる。

IFSW からの援助が必要な場合の連絡先。 ローリー・トゥルエル：rory.truell@ifsw.org